

# 平成20年度 定期作況報告

(8月20日現在)

北海道立中央農業試験場

# 水稻の部

水田・転作科(岩見沢市)

## I 気象概況

7月下旬：平均気温は平年より0.5℃低く、降水量は平年の42%、日照時間は平年の110%であり、少雨、多照に経過した。

8月上旬：平均気温は平年より1.0℃低く、降水量は平年の90%、日照時間は平年の166%であり、低温、少雨、多照に経過した。

8月中旬：平均気温は平年より1.1℃低く、降水量は平年の66%、日照時間は平年の97%であり、低温、少雨に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.8℃低く、降水量は平年の65%、日照時間は平

6月下旬～7月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	24.8	25.4	△ 0.6	26.7	26.6	0.1	24.7	26.0	△ 1.3	25.4	26.0	△ 0.6
最低気温(℃)	17.3	17.7	△ 0.4	17.0	19.1	△ 2.1	17.1	17.9	△ 0.8	17.1	18.2	△ 1.1
平均気温(℃)	21.1	21.6	△ 0.5	21.8	22.8	△ 1.0	20.9	22.0	△ 1.1	21.3	22.1	△ 0.8
降水量(mm)	22.0	52.6	△ 30.6	41.5	45.9	△ 4.4	18.5	28.0	△ 9.5	82.0	126.5	△ 44.5
日照時間(hr)	60.2	54.7	5.5	85.9	51.6	34.3	54.3	55.9	△ 1.6	200.4	162.2	38.2

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成10～19年の10ヶ年平均値を農試が算出し、使用。

最高、最低気温は期間内の平均値、平均気温は各日最高、最低気温の平均で期間内の平均値をそれぞれ用いた。

降水量、日照時間は期間内の積算値を用いた。

## II 作 況

5月20日 やや不良

事由:本年は根雪終日が10日早く、圃場の乾燥が早かった。播種は平年より1日早い4月18日に行った。播種後の好天により、出芽まで5日で、出芽揃も概ね良好であった。4月下旬から5月上旬は好天が続いた。しかし、5月10日前後で最低気温が0℃前後となった日が数日続き、特に、5月10日は-0.8℃まで冷え込んだ。また、5月中旬は、曇天などにより気温、日照時間ともに平年より下回った。そのため、苗の生育は遅延した。移植は平年並の5月21日に行った。

移植時における苗質は、茎数、主稈葉数は両品種ともにほぼ平年並であった。しかし、「きらら397」、「ほしのゆめ」で草丈がそれぞれ0.7cm、1.4cm平年より短く、また、乾物重も「きらら397」、「ほしのゆめ」の両品種ともそれぞれ23%、26%平年を下回っていた。

以上により、5月20日時点の作況は、やや不良である。

6月20日 やや不良

事由:移植は平年並の5月21日に行った。移植前の低温により、移植時の地上部乾物重が平年より少なく、苗質は平年より若干劣った。また、移植後も低温、寡照に経過し、6月20日における草丈は、「きらら397」で平年の80%、「ほしのゆめ」で平年の75%で平年を下回った。また、茎数も「きらら397」で平年の91%、「ほしのゆめ」で平年の82%と両品種とも平年を下回った。ただし、主稈葉数は平年に比べ「きらら397」で0.1葉上回り、「ほしのゆめ」では0.3葉下回り、ほぼ平年並であった。

以上により、6月20日時点の作況は、やや不良である。

7月20日作況 平年並

事由:6月下旬から7月中旬まで平均気温が平年より高めに推移し、特に7月上旬は3.0℃上回り、それまで平年より遅れていた生育が促進された。幼穂形成期は平年に比べ「きらら397」、「ほしのゆめ」ともに3日遅かったが、7月20日における主稈葉数はそれぞれ0.5葉、0.4葉ともに平年より上回った。また、草丈は、それぞれ平年比108%、104%となり、茎数もそれぞれ平年比106%、105%と平年をわずかに上回った。

以上により、7月20日時点の作況は、平年並である。

8月20日作況 やや良

事由:7月下旬から8月中旬まで平均気温が平年より低く推移した。しかし、8月上旬の日照時間は平年比166%と多く、7月下旬から8月中旬の期間でも平年より多かった。そのため、生育は平年並に進んだ。止葉始は平年より1日遅く、出穂期は平年並であった。8月20日における稈長は、「きらら397」で平年比109%、「ほしのゆめ」で105%と平年より長く、穂長も「きらら397」で105%、「ほしのゆ

品種名 項目 \ 年次		きらら397 中苗			ほしのゆめ 中苗			ななつぼし 中苗	
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	(参考)
播種期	(月.日)	4.18	4.19	△ 1	4.18	4.19	△ 1	4.18	4.18
移植期	(月.日)	5.21	5.21	0	5.21	5.21	0	5.21	5.22
幼穂形成期	(月.日)	7.10	7.07	3	7.08	7.05	3	7.07	7.04
止葉始	(月.日)	7.24	7.23	1	7.22	7.21	1	7.19	7.19
出穂期	(月.日)	8.05	8.05	0	8.04	8.04	0	8.03	8.04
成熟期	(月.日)		9.22			9.20			9.19
穂揃日数	(日)	6	6.8	△ 0.8	6	7.8	△ 1.8	7	6.0
出穂まで日数	(日)	109	108	1	108	107	1	107	108
生育日数	(日)		157			155			154
移植時地上部乾物重(g/100本)		1.79	2.33	△ 0.54	1.73	2.35	△ 0.62	1.81	2.40
草丈 (cm)	移植時	9.6	10.3	△ 0.7	9.3	10.7	△ 1.4	9.4	9.9
	6月20日	19.7	24.7	△ 5.0	20.2	26.9	△ 6.7	22.0	26.5
	7月20日	60.2	55.8	4.4	60.4	58.2	2.2	67.6	61.2
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m <sup>2</sup> )	移植時	1.0	1.1	△ 0.1	1.2	1.2	0.0	1.0	1.1
	6月20日	308	337	△ 29	288	352	△ 64	335	306
	7月20日	943	887	56	928	888	40	930	802
主稈 葉数 (枚)	移植時	3.3	3.3	0.0	3.1	3.3	△ 0.2	3.2	3.1
	6月20日	6.9	6.8	0.1	6.3	6.6	△ 0.3	6.7	6.8
	7月20日	11.1	10.6	0.5	10.3	9.9	0.4	10.5	10.4
	止葉	11.8	11.2	0.6	10.8	10.2	0.6	10.6	10.6
稈長	(cm)	68.6	63.1	5.5	70.0	66.4	3.6	71.8	66.4
穂長	(cm)	17.2	16.4	0.8	15.7	15.6	0.1	17.2	16.7
穂数	(本/m <sup>2</sup> )	775	731	44	828	774	54	810	700
一穂粒数	(粒)		48.7			44.3			57.0
m <sup>2</sup> 当粒数	(百粒)		356			343			399
稔実歩合	(%)		80.8			85.8			80.2
登熟歩合	(%)		71.8			76.2			68.7
籾摺歩合	(%)		74.7			69.6			73.5
屑米歩合	(%)		9.9			15.9			13.1
千粒重	(g)		22.6			21.4			21.3
わら重	(kg/a)		68.5			68.8			80.0
精籾重	(kg/a)		71.8			71.3			72.1
精玄米重	(kg/a)		53.6			49.6			53.0
収量平年対比	(%)		100			100			100
検査等級			2上	—		2上	—		1下

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成16年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 一昨年より「ななつぼし」(中苗紙筒)の調査を開始した。同品種の(参考)は過去2か年の平均値

注3) 耕種概要

土 壤 : 細粒グライ土

施 肥 : 高度化成472全層施肥 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1.5t/10a

播種量 : 中苗紙筒=180cc/箱

栽植密 : 30×13.3cm 25株/m<sup>2</sup> 4本植え

移植方法 : 手植え

反 復 : 2

注4) 刈り取り面積は一区3.6m<sup>2</sup>、精籾重、精玄米重は水分15%換算値を、篩目は1.9mmを使用した。

# 畑作の部

畑作科(長沼町)

## I 気象概況

7月下旬:平均気温は平年より1.1℃低く、降水量は平年の37%、日照時間は平年の118%であり、低温、寡雨、多照に経過した。

8月上旬:平均気温は平年より0.7℃低く、降水量は平年の108%、日照時間は平年の194%であり、多照に経過した。

8月中旬:平均気温は平年より1.2℃低く、降水量は平年の74%、日照時間は平年の94%であり、低温、寡雨に経過した。

以上、1ヶ月を通じ気温は平年より1.0℃低く、降水量は平年の70%、日照時間は平年の133%であり、低温、少雨、多照に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	23.5	25.0	△1.5	26.3	26.1	0.2	24.0	25.7	△1.7	24.6	25.6	△1.0
最低気温(℃)	17.0	17.7	△0.7	17.1	19.1	△2.0	17.1	18.2	△1.1	17.1	18.3	△1.2
平均気温(℃)	19.7	20.8	△1.1	21.3	22.0	△0.7	20.3	21.5	△1.2	20.4	21.4	△1.0
降水量(mm)	21.0	56.7	△35.7	51.5	47.8	3.7	23.5	31.8	△8.3	96.0	136.3	△40.3
降水日数(日)	4.0	3.8	0.2	3.0	3.2	△0.2	3.0	2.9	0.1	10.0	9.9	0.1
日照時間(hr)	53.6	45.6	8.0	83.4	43.1	40.3	45.3	48.3	△3.0	182.3	137.0	45.3

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は過去10年間を用い、中央農試で算出した。△は減を示す。なお、データは、平成16年までは確定値、平成17年からは速報値を用いた。確定値の最高・最低気温は、平成15年1月より測定法が変更されている(毎正時→10分計)

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

## Ⅱ 作 況

### 1. 秋まき小麦(平成19年播種)

平成19年9月20日作況

作況：平年並み

事由：9月2半旬以降の多雨のため、播種は平年より4日遅い9月19日であるが、安定した越冬のために必要な主茎葉数6葉以上を確保するためには問題が無い程度の遅れと見られる。

平成19年10月20日作況

作況：やや不良

事由：播種後気温は平年並み～やや高めに推移し、出芽期は播種の遅れと同等の平年比4～5日遅れとなったが、出芽そのものは順調であった。10月中旬が低温に推移したため、この間の生育の進展は緩慢となり、10月20日現在で草丈及び茎数は平年を下回っている。

平成20年5月20日作況

作況：平年並み

事由：播種期は平年より4日、出芽期は4～5日それぞれ遅かったものの、越冬前の茎数は1100～1200本/m<sup>2</sup>を確保できた。根雪終は平年より5日早かったものの、雪腐病による冬損は「ホクシン」でやや多かった。融雪後4月は高温寡雨に推移し、生育の進展は早かったが、5月2半旬以降低温傾向となり、生育はやや停滞している。5月20日現在で草丈は平年並より5～10cm大きく、茎数は分げつ茎の減少が早まったため平年より180本/m<sup>2</sup>程度少ない。

平成20年6月20日作況

作況：平年並み

事由：4月の好天で生育は早まったものの、一転して5月中旬以降の低温傾向のため生育の進展は緩慢となり、出穂期は「ホクシン」で平年並み、「ホロシリコムギ」で3日早となった。草丈は生育がやや早めのこともあり平年より5～9cm大きく、茎数は平年より80～100本/m<sup>2</sup>程度少ない。

以上により、現在の作況は平年並みである。

平成20年7月20日作況

作況：平年並み

事由：7月に入り高温に推移し、登熟が進んだ。成熟期はやや早生の「ホクシン」で平年より1日遅く、中生の「ホロシリコムギ」は成熟期に至っていない。稈長は平年並、穂長は並～やや長い、穂数は少ない。本年は倒伏の発生が見られず、病害は「ホクシン」で冬損がやや多く、全体に赤さび病の発生が目立った他は少な目の発生であった。

平成20年8月20日作況

作況：やや不良

事由：成熟期は早生の「ホクシン」で平年より1日遅く、中生の「ホロシリコムギ」では1日早かった。子実重はやや早生の「ホクシン」で平年比93%と低収であったが、一方中生の「ホロシリコムギ」では117%と多収となった。7月中～下旬の低温傾向が成熟期の遅い品種の登熟に有利に作用したものと考えられた。リットル重、千粒重は両品種とも平年よりやや高めであった。

以上、「ホロシリコムギ」は多収であったものの、基幹品種の「ホクシン」が低収となったことから、現在の作況はやや不良である。

項目	品種名 年次	ホクシン			ホロシリコムギ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(H19.月.日)	9.19	9.15	4	9.19	9.15	4
出芽期	(H19.月.日)	9.25	9.21	4	9.26	9.21	5
出穂期	(H20.月.日)	6.04	6.04	0	6.08	6.11	△ 3
成熟期	(H20.月.日)	7.19	7.18	1	7.24	7.25	△ 1
冬損程度	(0:無～5:甚)	2.3	1.1	1.2	1.0	1.2	△ 0.2
草丈 (cm)	H19.10.20	16.8	21.9	△ 5.1	16.0	25.4	△ 9.4
	H20.5.20	57.7	52.5	5.2	62.5	52.8	9.7
	H20.6.20	105.4	96.3	9.1	109.9	104.8	5.1
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	H19.10.20	514	867	△ 353	456	901	△ 445
	越冬前(11月)	1259	1299	△ 40	1124	1424	△ 300
	越冬後(4月)	1511	1526	△ 15	1553	1751	△ 198
	H20.5.20	988	1171	△ 183	1143	1318	△ 175
成熟期における	稈長 (cm)	94	91	3	101	103	△ 2
	穂長 (cm)	8.9	9.0	△ 0.1	9.2	8.6	0.6
	穂数(本/m <sup>2</sup> )	623	634	△ 11	557	628	△ 71
倒伏程度	(0:無～5:甚)	0.0	1.1	△ 1.1	0.0	2.3	△ 2.3
子実重	(kg/10a)	599	643	△ 44	679	582	97
リットル重	(g)	811	805	6	808	795	13
千粒重	(g)	39.7	38.3	1.4	46.3	43.6	2.7
品質	(等級)		2等			2等	
子実重平年対比	(%)	93	100	△ 7	117	100	17

注1) 平年値は前7か年中、最凶(ホクシンH18、ホロシリH14)、最豊(ホクシンH15、ホロシリH16)を除く5か年平均(収獲年度)。

2) △は平年より早、短、少を表す。

3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

## 2. 春まき小麦

5月20日：やや良

事由：根雪終は平年より5日早い3月25日（融雪剤使用圃場）であった。播種期は平年より1日早い4月15日であった。播種後の気温が高めに推移したため、出芽日数は短く、出芽期は平年より6日早い4月24日であった。出芽後も気温が高めとなったため生育は進んだ。5月中旬の低温で生育はやや緩慢となったものの、草丈および茎数は平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

6月20日：やや良

事由：気温は6月上旬がやや高く推移したが、5月下旬と6月中旬は低く推移した。このため、生育の進捗は緩慢となったが、前節までの生育が進んでいたため、出穂期は平年より2～3日早かった。生育は旺盛であり、草丈および茎数が平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日：やや良

事由：稈長は平年よりやや長く、穂長は概ね平年並みである。前節までの茎数が多めに推移したことから、穂数は平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である

8月20日：平年並

事由：成熟期は平年より4～5日早かった。穂数は平年を上回ったが、出穂期から成熟期までの日数が短かったため一穂粒数と千粒重は平年を下回った。このため子実重は、ハルユタカで平年比102%、春よ恋で平年比97%と、総体的に平年並となった。



品種名 項目 \ 年次		ハルユタカ			春よ恋		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.15	4.16	△ 1	4.15	4.16	△ 1
出芽期	(月.日)	4.24	4.30	△ 6	4.24	4.30	△ 6
出穂期	(月.日)	6.19	6.21	△ 2	6.18	6.21	△ 3
成熟期	(月.日)	7.30	8.03	△ 4	7.29	8.03	△ 5
草丈	5月20日	25.1	20.4	4.7	25.5	20.8	4.7
(cm)	6月20日	87	77	10	89	80	9
茎数	5月20日	812	540	272	963	567	396
(本/m <sup>2</sup> )	6月20日	759	726	33	781	700	81
7月20日 稈長	(cm)	92	88	4	98	95	3
または 穂長	(cm)	8.8	8.4	0.4	8.4	8.6	△ 0.2
成熟期 の 穂数	(本/m <sup>2</sup> )	490	469	21	573	480	93
子実重	(kg/10a)	500	489	11	535	552	△ 17
一穂粒数	(粒)	29.3	31.8	△ 2.5	32.5	34.3	△ 1.8
千粒重	(g)	39.7	41.7	△ 2.0	40.7	42.9	△ 2.2
リットル重	(g)	807	812	△ 5	813	821	△ 8
品質	(等級)	2中			2中		
子実重平年対比	(%)	102	100	2	97	100	△ 3

\*) 平年値は前7カ年中、最豊(平成14年)、最凶(平成13年)を除く5カ年平均。

一穂粒数は、各反復で有効穂を50穂調査。リットル重は1リットル升による測定。

平成20年7月20日作況

### 3. 大豆

6月20日 平年並

事由：播種期は平年より3日早い5月19日であった。5月下旬が低温に経過したが、出芽期は平年並の6月2日であった。主茎長および主茎節数はほぼ平年並であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 やや良

事由：6月下旬までの好天により主茎長、主茎節数、分枝数は平年よりやや多く、開花期は平年よりツルムスメで6日、トヨムスメで3日早かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

8月20日 やや良

事由：7月下旬から8月上旬にかけてやや低温に推移したが、日照と適度な降水量があったこと、また7月中旬までに十分な生育が確保されていたことにより、主茎長は平年より長く、主茎節数と分枝数も平年並からやや多かった。また、莢数はツルムスメを除いて平年より多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

9月20日

事由：

最終

事由：

平成20年7月20日作況

3. 大豆

品種名 項目 \ 年次		ツルムスメ			ユウヅル			トヨムスメ			スズマル(参考)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.19	5.22	△ 3	5.19	5.22	△ 3	5.19	5.22	△ 3	5.19	5.22	△ 3
出芽期	(月.日)	6.02	6.01	0	6.02	6.01	1	6.02	6.01	1	6.02	5.31	2
開花期	(月.日)	7.16	7.22	△ 6	7.27	7.31	△ 4	7.15	7.18	△ 3	7.23	7.27	△ 4
成熟期	(月.日)		10.01			10.19			9.28			10.03	
主莖長  (cm)	6月20日	9.1	8.8	0.3	9.0	9.0	△ 0.0	9.8	10.3	△ 0.5	7.3	8.2	△ 0.9
	7月20日	51.5	43.8	7.7	46.0	41.2	4.8	51.7	48.1	3.6	38.0	37.2	0.8
	8月20日	65.0	58.0	7.0	92.3	86.2	6.1	62.7	60.6	2.1	75.0	71.5	3.5
	9月20日		58.6			87.1			61.1			72.6	
	成熟期		57.9			87.0			60.4			72.6	
主莖節数  (節)	6月20日	3.4	3.4	△ 0.0	3.2	3.4	△ 0.2	3.2	3.1	0.1	3.1	3.4	△ 0.3
	7月20日	13.0	10.4	2.6	12.1	10.3	1.8	9.9	9.5	0.4	12.3	10.1	2.2
	8月20日	13.7	12.2	1.5	15.7	16.0	△ 0.3	10.1	10.5	△ 0.4	15.2	14.3	0.9
	9月20日		12.2			15.9			10.3			14.3	
	成熟期		12.0			16.1			10.3			14.2	
分枝数  (本/株)	7月20日	6.7	5.8	0.9	4.1	4.2	△ 0.1	6.6	6.1	0.5	7.8	7.1	0.7
	8月20日	7.6	6.4	1.2	4.1	4.8	△ 0.7	7.3	6.3	1.0	13.8	11.0	2.8
	9月20日		6.2			4.2			6.0			10.7	
	成熟期		6.4			3.7			5.8			9.6	
着莢数  (莢/株)	8月20日	50.6	55.8	△ 5.2	46.7	39.2	7.5	72.7	66.9	5.8	158.8	138.8	20.0
	9月20日		53.1			52.9			63.6			119.0	
	成熟期		53.4			51.1			62.6			114.6	
一莢内粒数		1.75			1.75			1.79			2.33		
子実重 (kg/10a)		335			306.2			372.2			317.6		
百粒重 (g)		46.5			42.6			39.8			15.0		
屑粒率 (%)		2.4			3.4			1.9			2.0		
品質 (等級)		3上			3下			3下			2下		
子実重平年対比 (%)			100			100			100			100	

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

#### 4. 小豆

6月20日 やや不良

事由：播種時期の降雨により、播種期は平年より4日遅い5月29日であった。

6月上旬の気温はやや高く経過し、出芽期は平年より3日遅い6月15日であったが、6月中旬はやや低温に経過し、現在のところ主茎長と主茎節数は平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日 やや不良

事由：6月下旬～7月上旬にかけて降水量が平年より少なく、干ばつ傾向に推移したため、生育はやや停滞し、主茎節数が平年よりやや多かったが、主茎長は平年より2.4cm低く、分枝数が2.2本少なかった。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日 やや不良

事由：開花期は平年より一日早かった。現在のところ前節に引き続き、主茎長と分枝数は平年を下回り、主茎節数もやや少ない。また、着莢数も平年の91%と少なかった。

以上により、現在の作況はやや不良である。

9月20日

事由：

品種名		エリモシヨウズ		
項目 \ 年次		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.29	5.25	4
出芽期	(月.日)	6.13	6.10	3
開花期	(月.日)	7.24	7.25	△ 1
成熟期	(月.日)		9.10	
主茎長 (cm)	6月20日	3.1	4.1	△ 1.0
	7月20日	18.6	21.0	△ 2.4
	8月20日	60.9	65.2	△ 4.3
	成熟期		67.1	
主茎節数 (節)	6月20日	0.9	1.6	△ 0.7
	7月20日	8.6	8.2	0.4
	8月20日	12.4	13.1	△ 0.7
	成熟期		13.0	
分枝数 (本/株)	7月20日	2.1	4.3	△ 2.2
	8月20日	3.7	5.1	△ 1.4
	成熟期		4.3	
着莢数 (莢/株)	8月20日	55.2	60.6	△ 5.4
	成熟期		53.9	
一莢内粒数			6.10	
子実重	(kg/10a)		339	
百粒重	(g)		13.2	
屑粒率	(g)		6.4	
品質	(等級)		3中	
子実重平年対比	(%)	114	100	

### 3. ばれいしょ

5月20日

作況：平年並

事由：本年は融雪期が平年より5日早く、その後も4月は高温寡雨に推移し、植付期は平年より3日早まった。植付後の5月は2半旬以降一転して低温傾向に推移しており、5月20日現在で一部萌芽は始まっているものの萌芽期には至っていない。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日

作況：平年並

事由：植付期は平年より3日早く、5月中旬がやや低温傾向であったものの萌芽期は平年より5日早まった。6月20日時点の茎長は平年よりやや大きく、茎数は平年をやや少な目である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日

作況：やや不良

事由：7月に入り高温に推移し、開花始は平年より1日早く、茎長はやや短く、茎数は少ない。7月2半旬より茎葉の黄化が始まっており、枯凋期の早まりによる塊茎肥大期間の短縮が懸念される。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日

作況：良

事由：7月下旬以降低温傾向に推移したため、枯凋の促進は緩慢となり、平年より3日早で枯凋期を迎えた。このため塊茎肥大期間の短縮は避けられ、肥大は順調であった。株当たりの上いも数はやや少ないものの、上いも平均一個重は平年より大きく、上いも重は平年を9%、中以上いも重では19%上回った。また、でん粉価はほぼ平年並みであった。

品種名		男爵薯		
項目 \ 年次		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.30	5.03	△ 3
萌芽期	(月.日)	5.21	5.26	△ 5
開花始	(月.日)	6.22	6.23	△ 1
枯凋期	(月.日)	8.19	8.22	△ 3
茎長	6月20日	35	32	3
(cm)	7月20日	41	42	△ 1
茎数	6月20日	4.7	5.3	△ 0.6
(本/株)	7月20日	4.0	5.0	△ 1.0
8月20日における				
上いも数	(個/株)	12.8	14.0	△ 1.2
上いも平均一個重(g)		90	76	14
上いも重	(kg/10a)	5110	4666	444
でん粉価	(%)	14.7	14.8	△ 0.1
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	12.8	13.9	△ 1.1
上いも平均一個重(g)		90	77	13
上いも重	(kg/10a)	5110	4699	411
中以上いも重(kg/10a)		4371	3678	693
でん粉価	(%)	14.7	14.9	△ 0.2
上いも重平年対比 (%)		109	100	9
中以上いも重 " (%)		119	100	19
でん粉価 " (%)		99	100	△ 1

注) 平年値は前7か年中、平成18年(最凶)、19年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は21g/個以上、「中以上いも」は61g/個以上。